

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 77 号	氏名	小林 三智子
学位審査委員	主 査 林 善彦 副 査 池田 通 副 査 朝比奈 泉		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、日本人若年女性を対象に、西洋において従来からいわれている味覚地図に示されるような明らかな味覚感受性の差が、舌の各部位によって存在するかを再検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>閾値は、その定義の仕方や測定方法、データの解析方法によって異なるため、相互比較は困難であるが、本研究では厳密な条件化で表れる相対的な閾値を測定し、研究方法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>本研究では、日本人若年女性について舌の先端部で甘味と苦味に対する感受性が有意に高く、舌縁部で酸味、塩味およびうま味に対する感受性が高い傾向にあるという結果が得られた。舌の各領域での味覚感受性に関する研究の今後の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は味覚感受性の研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			